

平成 22 年度共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名	和文：宇宙線将来計画研究会 英文：Future plan symposium for cosmic ray research
研究代表者	森 正樹（立命館大学理工学部）
参加研究者	東京大学宇宙線研究所長・梶田隆章、名古屋大学太陽地球環境研究所・伊藤好孝、大阪市立大学大学院理学研究科・荻尾彰一、甲南大学理工学部・梶野文義、大阪市立大学大学院理学研究科・神田展行、横浜国立大学工学部・柴田槇雄、京都大学理学研究科・谷森 達、東京大学宇宙線研究所・寺沢敏夫、早稲田大学理工学術院総合研究所・鳥居祥二、東海大学理学部・西嶋恭司、東京大学宇宙線研究所・福島正己、信州大学理学部・宗像一起、千葉大学理学研究科・吉田 滋、他 CRC 会員一同
研究成果概要	<p>2007 年夏に CRC が宇宙線研究所と合同で将来計画シンポジウムを開いてから 3 年が経過した。この間の各プロジェクトの進展や、新たに提案されたプロジェクトについて聞き、会員間で議論や理解を深め、実現を目指していくために、2010 年 9 月 16 日～17 日、東京大学柏キャンパス総合研究棟 6 階において「CRC 将来計画シンポジウム」を開催した。参加者は（登録をした人数として）86 名であり、活発な議論が展開された。プログラムは下記を参照されたい。また、発表資料もここからダウンロードできる。</p> <p>http://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/CRC/Symposium/2010-09/sympo2010prog.htm</p> <p>また、このシンポジウムで紹介された将来計画を背景にある物理の状況も含めてまとめた文書を作成し公開した。以下から入手されたい。</p> <p>http://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/CRC/Symposium/2010-09/future20110303.pdf</p> <p>この文書は随時更新していく予定である。</p>
整理番号	